

包 括 的 公 表

平成 23 年 7 月～9 月に報告された医療事故のうち、包括的公表となる事例は下記のとおりです。

発生場所	概 略	再発防止策
入院	手術前に、他患者の薬（降圧剤等）を内服させた。問題は生じなかった。	与薬時のマニュアルを遵守し、患者確認を徹底した。
入院	注意喚起されている薬剤を使用した。治療により軽快した。	薬剤使用時は、安全情報の確認を徹底することを周知した。
入院	ペースメーカーの体外用ケーブルが断線した。	ケーブルの適正な使用を徹底した。
外来	検査項目を間違えて採血を行った。	検査目的を記入した用紙を事前に渡し、十分に確認することを周知した。
外来	左側から右側の順で治療する予定が、順番を間違えた。患者への実害はなかった。	施行部位の確認システムを検討し、タイムアウトを実施することを周知した。
外来	メンテナンスの不備により、治療器具が過熱し軽度熱傷を起こした。治療により軽快した。	器具の基本的な取扱い、メンテナンスを確認し周知した。
外来	サングラスを装着せず、光線療法を実施した。	治療実施前の確認を行い、説明を十分に行う。
外来	過去のレントゲン写真を参照して、治療方針を決定したが、実害はなかった。	診療経過の確認を行い、十分なインフォームド・コンセントを行うことを周知した。